

●トラック1:好きな人にご都合主義な「エッチさせて」を頼まれたオンナ

●背景:校舎裏(夕方)

(放課後、主人公は校舎裏の壁に寄りかかって放心状態)
(遅れて夏菜子がやって来る)
(夏菜子、目の前を通りかかった時に主人公に気づく)

あれ……部活どうしたの？

(主人公「フラれた……」)

フラれたって？
もしかしてなんだけど……あの子に告白した後、とか……？
そ、そっか……。

……ごめんね？
私が背中押したのに……まさか、こうなるなんて。
あのね？ いけると思ったの。
相性よさそうだし——そ、その……ね？
あの子も、キミのこといいって言ってたから……。
なにがダメだったのかな？

(主人公「童貞だって」)

へ？ ど、童貞っ？

(主人公「童貞はダメらしい……経験が多い方がいいって」)

そ、そっか……。
じゃ、じゃあ！ 経験がある人だったらよかったんだ？
なるほど……これでやっと私に、風向きが……。

(主人公「お願いがある！」)

えっ？ お願い？

(主人公「やらせてくれ！」)

……。
えええッ！？
やらッ——えええッ！？
それって……私とエッチしてってこと！？

無理だよ無理！
だって、あの子とつき合いたいんでしょ！？

(主人公「経験したいんだよ！ 頼む！」)

け、経験したいからってなんで私が……。
う〜……で、でも……。
私の気持ちはどうすれば……。

(主人公「どうした？」)

あ、ううん！ なんでもないよなんでもない！

(主人公「そういえば噂で聞いたんだけどさ」)

う、噂？ なんの話？

(主人公「俺のこと好きなんだっけ？ お前」)

へえッ！？
わわわわ私がキミのことおお！？
だ、だだだだだ誰がキミのこと好きだって言ったのかなぁッ！？
ないないない！ それ噂！ ただの噂ァッ！
そんなことないから〜〜〜〜ッ！

●トラック2:好きな人の力になりたいくてズボンの上からチンタッチ

●背景:住宅街(夕方)

(主人公と夏菜子、一緒に歩く)

それで……進展はあった？

(主人公「いや……全然」)

そ、そっか……。
あのさ？ 妥協とかはできないのかな？
フラれたんでしょ？
別の子を好きになる、とか……。

あっ！ ほ、ほらっ？
たとえばおっぱい大きい子とかいいんじゃないかなぁッ！？

同級生でおっぱい大きくてッ、と、友達っぽい感じで隣に居られる子とか最高だと思うんだけどなあ！

(主人公「それ、モロに棗じゃん」)

ええッ！？
わ、私ッ？
あ、アハハハハハハ！
私のことじゃないよおっ？ お、おかしいこと言うなあ！

アハハ……ハハ……ハハ……。
……。
うう……。
で、でも……。
別にあの子にこだわらなくてもいいんじゃないかなあ……とは思っててえ……。

(主人公「なにか言った？」)

ううん！ なにも言ってないよッ？
それで……え、えっと、
頼りがいのある人を目指したいんだっけ……。
経験、かあ……うーん……。

あのさ？
どうしても……あの子じゃなきゃダメ？

(主人公「諦められない」)

そうなんだ……。
そんなに……。
はあ……。

あ、あの……。
よかったら……協力、するよ？

(主人公「協力？」)

うんっ……こないだ、言ったでしょ？
そ、その……っ、ど、どどっ、童T(どうていー)……Tじゃない！ どどっ、童貞……。
貰えば、いいんだよね……。
私、が……。

(主人公「いいの？」)

う、うん……。

あ、言っておくけど、誰にも言わないでよ？

大事な友達……っ、だから……協力してあげただけで……。

この先、おうちだよね……？

あがっていいかな？

玄関まででいいから！

ね？ いきなり全部は無理だから……す、少しくらい……慣れていけばいいかな……うん。

じゃあ、いこ？

(場面転換)

(先に夏菜子が入る)

お邪魔しまーす……。

ここでいいや。

部屋にあがるのは……その……、

お、お付き合いしてからね？

(主人公「え？」)

あっ！ な、なんでもない！

それよりッ！ こ、ここでいい！ ここでいい！ ここで！

お母さんまだ帰ってないもんねっ？ ここで！

えっ、えっと！ こういうことだよねっ？

それからっ、それから……ッ。

(主人公「落ち着けて」)

おおっ、落ち着けないよ！

男の子の家初めてなんだよ！

と、とりあえずっ、童貞……っ、童貞……ッ。

ううおおっ、おちんツ、ちん……っ、触れば、いい……？

あ、違う！ キスだキス！ アハハ……き、キス、経験、しないと……ッ。

いやいやいや！ キスはダメか！

アハハ……き、キスはとっておきたいよね……！

(主人公「したい！」)

ひゃ……ッ！

しッ、ししししたいのッ？

私だよっ？ 友達ッ、なんだよッ？

いッ、いいならッ——

(夏菜子、テンパリながらキスへ)

んむっ！ チュッ……チュッ……！

(慌てて離れる)

はあ！

はあっ、はあっ……ッ、す、すごい……ッ！

ごく……っ！

あッ……い、言うけどッ、練習だよっ？

練習！ ファーストキスノーカン！

……練習、だから……も、もう一回……ッ。

(夏菜子、今度は冷静にキス)

チュッ……んんむ、ちゅッ、チュッ。

ぷちゅう、んん、ちゅ……れろ、れろ……んん、チュッ。

ふう……んく、ちゅん、チュッ……ちゅ。

し、舌も……。

出して……？

(ディープキスへ)

れろッ、うう、ちゅ、んう、ちゅ……すごい……ッ。

ちゅう、チュッ、ちゅ、ああ、明日……お赤飯……！

ちゅる、れろッ、れろ……んん、ちゅ、ちゅる、チュッ。

ふう……んぷぷ、ちゅッ、れろ、れろ……んん、ちゅる、チュッ。

ちゅう、ちゅっ、ん、ちゅ……。

(主人公「チンコ触って」)

ちゅうる、ちゅっ、え……？

さ、触ってって……おちん、ち……？

ちゅ、ううん、ちゅ……で、でも……待ってよ……。

いきなり触るのなんて、は、初めてだし……勇気いる。

んう……ちゅ、チュッ、ズボン越しで……いい？

ふう、ふう……んん、んう……いくよ？

(夏菜子、ズボン越しにペニスヘタッチ)

えい……ッ。
どう？ 触ったよおツ？

（主人公「ちゃんと触って」）

ちゃ、ちゃんと言って言われても……！

は、恥ずかしいから……ッ、
なにも言わないでよ？ いいっ？

すう……はあ……すう……。
夏菜子……ッ、オトナになります……ッ！

（夏菜子、ズボン越しにペニスを掴む）

ううう……っ。
ど、どどどどどどッ、どう……？

（ペニスが反応する）

ひ……ッ！
おおおッ、おちんちんッ、膨らんでる！？
えっ？ 嘘ッ！ これ……どこまで大きくなるの……！？

（夏菜子、ペニスを揉み始める）

わっ……！
カチカチ！ さっきまで柔らかかったよね……ッ？
すご……ッ！

（主人公「橐の手がエロい」）

はッ！？
え、エロくないよ！ マジの初めてなんだし！
そ、それより……っ、
まずは……んうう、ズボン越しに、触れていくね……？

（主人公「上下に擦ってみて」）

じょ、上下？
うん……

こ、う……？
んう……う、うわ……わ、私……しちゃった……ッ！

カップルみたいな、こと……！

(主人公「練習だぞ？」)

んう、へ？ あっ、う、うん、練習……。
わかってるってば……。
んう、ツ、ん……私にとっても、大事な練習……ツ。

んう、ん……おちんちんに、触って……、
んう、い、いつか……エッチ、だって……。
んく、んう、んう……ツ、んん、う……んう……。
んツ……んう、んう……ん、ん……。
ふう……ど、どうかな？ 力加減、とか……。

(主人公「強くても平気」)

強く？ う、うん……じゃあ、それやったら、
次……じかに……が、頑張ってみるね？
んう……これくらい、かな……？

んう……んく、ん……これ、大丈夫なの……？
んう……なんか……濡れてる気、する……。
ふうう……ん、んう、平気？
強がらないでよ～……？
んう、出しちゃったら、私が――

(射精する)

んっ？
あれ……？
もしかして――……出ちゃった？

(主人公「ごめん……っ」)

う、ううん！ そうだよね……ツ。
キミも、初めてなんだし……うん！ しょうがない！
で、でも……そっか……なんか……ご、ごめん……。

とにかく！
ズボン、ちゃんと洗っておいてね？
これくらいだったら……またつき合うからさ。
ね？

●トラック3:さすがにエッチはできないけど…口でいいなら

●背景:教室(夕方)

(トラック2から数日後)
(主人公、教室で夏菜子に頼み込んでいる)

はあああああああ！？
や、やらせてって嘘だよねぇ！？

(主人公「どうしても童貞捨てたいんだ！」)

もう！ 童貞童貞ってえ！
私の気持ちも考えよーよッ！
私だって処女なんだからさぁッ！

(主人公「この前の……見ただろ？」)

え？ あ……こないだのって……玄関の？
うん……ああ、あれは……たしかに早いと思った……。
だからって……なんで私なの……？
嬉しいけど……っ、つき合ってからしたいのに……。

……ハア。
エッチは無理だよ。
手でいい？

(主人公「やだ！」)

や、やだじゃないよ！
妥協してよ！

(主人公「素しか頼れない！」)

わ、私にしか頼れないってなに……。
全然嬉しくないんだけど……。
……う～……。

ね、ねぇ……妥協案だけど、
く、口ならいい？
ズボンの上からなら、だ、だけど……。

(主人公「ハア？ せめて直にしてくれよ！」)

う、うるさい！ じかは無理！

貸して……っ！

こんなこと……っ、彼氏じゃない人にするのあり得ないんだから……。

もお……こんなだから、都合のいい女になっちゃうのに……。

すう……はあ……。

するよ？

(夏菜子、ズボン越しに啜える)

んむ……んツ、ど、どう……？

ん、ん……んむ、ンツ……ん……ツ。

あ……大きくなってきた……。

んむ、んつ、ん……んう……んう……。

んむ、ん、ん……ん……んむ、ん……。

すごい……元気になってきたね……。

んむう、ン……ズボンの上からでも、んう、んツ、
形、くつきりしてる……。

んむう、ん、んう、んう……んう、ン……。

んむ、んん、んむ、ンツ、ん……。

(主人公「じかにしてくれ」)

んうう、ん、だ、だから直はダメだって。

んう、ん……ン……。

(主人公「このまま漏れたら帰れない」)

んく、ん、あ、そっか……。

このまま出しちゃったら……さすがに洗えないか……。

(ズボン越しここまで)

はあ……。

ん～……。

今日だけ、だからね？

出すよ？

うう……ツ、な、なんかすごい硬い……ツ。

わあ……ツ。

ううっ、これが……男の子の……？

(主人公「見たの初めて？」)

う、うん……見たことない……。
お兄ちゃんいるけど……一緒にお風呂入ったことないし……。
スンスン……。

うう……あ、洗ってる……。?
あ、違う。ごめん……おしっこか……。なら、しょうがないよね……。
うう……これ、舐めるの?

(主人公「褒も彼氏できたらするんだろ?」)

ねえ、男の子って、舐めてほしいの?

(主人公「憧れ」)

……そ、そうなんだ。憧れ、か……。
なら……射止めるチャンス……。ツ。
啜えるのは恥ずかしいから……。ツ、

(夏菜子、舐めフェラ開始)

れろれろ……。れろツ、舐めるので、許してね?
れろれろツ、ちゅう、ちゅんん、ちゅ、れろれろ、ちゅ、んん、チュツ。

(主人公「気持ちいい……」)

れろれろ、ちゅ、だよ。ね。
れろツ、ちゅ、気持ちいいの、伝わってる。
んん、れろ、れろ……。上手くないけど……。んん、れろツ、少しでも、ちゅる、れろ、れろ、キミ
が、我慢強くなれたら……。れろれろ、れろツ。

あと、ちゅ、チュツ、私も、将来のために……。ね。
れろれろ、ちゅる、ちゅる、ちゅ……。れろれろ、んん、ちゅる、ちゅ。
ちゅる、んん、チュツ、れろれろ……。んんぷう。

れろれろツ、んん、ちゅる、ちゅ、れろれろ……。んん、ちゅる、チュツ。
れろれろ……。んん、ちゅる、ちゅんん、ちゅ、れろれろツ。
んう……。んん、ちゅる、ちゅるっ、んん、ちゅるツ、ちゅツ。

れろれろ……。れろツ、れろ……。んん、ちゅる、チュツ。
れろ……。んん、ちゅる、チュツ、んん、ちゅる、チュツ。
あ、つい真剣に舐めちゃった。

れろツ、ちゅ、ちゅ、気持ちいいかな……。?
れろれろツ、ちゅうんん、チュツ、んん、ちゅ……。ほんとに初めてで、

れろッ、ちゅ、これ、見たのも初めてで……れろ、れろ……ちゅうるチュッ。
キスだって……れろれろッ、こないだキミとしたのが、異性としては最初。

(主人公「ファーストキスじゃなかったの？」)

れろれろッ、んん、うん、ファーストじゃない。
初めては、れろッ、ちゅ、友達……ちゅ、キミの好きな子に取られた……笑
れろッ、チュ、チュッ、去年の修学旅行一緒だったから……ちゅ、チュッ、勢いで……笑
というか、こないだのは、ちゅる、チュッ、練習だからノーカンだって言ったよ？

(主人公、バキバキになる)

れろれろッ、んう、ちょっと～？
なに想像したの？笑
れろっ、ちゅる、ちゅ、エッチい。
ちゅッ、んん、ちゅ……チュッ……れろっ、れろ……。

想像したなら……ムラムラしたってことかな。
ちゅるッ……うッ、んん、ちゅッ、ちゅッ。
出そうなら……いつでもいいよ。
ちゅる、ちゅう、あ、でも……れろッ、れろ、どこで受け止めればいいの？
れろ、れろ……ちゅんん、ちゅっ。

(主人公「口とか？」)

れろれろっ、ちゅう、ハア？ く、口？
無理だよ！ 精液でしょ？ 飲めるわけないよ！
れろれろれろ……ん、ちゅる、チュッ、ちゅ。
んん、ちゅる、チュッ、んぷ、チュッ、ちゅる、ちゅる、それじゃあ——

(ぶっかけ射精)

ひう！
あッ、あ……も、もお……！
う、う……かかったあ……ッ！

ううッ、ベとベとお……ッ。
ふう……うう、う……ッ。
出すなら出すって言ってよお……んんううも～～……。
ふう……うう、ううッ、汚いの嫌いい……。

(主人公「でも、気持ちよかった」)

んうう、気持ちいいのはいいけど……ん、ちゃんと女の子のことも考えなきゃあ……。
童貞だからじゃなくて、そーいうところがダメだったんじゃないの～？

んう……まあ、いいや。
出ちゃったんだもん。仕方ないや。

それで……満足、できた？
それならこれ……やめていいよね？

●トラック4:女の子のイカセ方を知りたい好きな人のために膣晒し&クンニ

●背景:教室(夕方)

(トラック3の続き)
(顔にぶっつけた後)

う～……これ、スッピンで帰らなきゃダメかもお。
んしょっ。

(主人公「なんか……エロい」)

うッ！
顔見るなあ！
も～～～～……キミじゃなかったらマジで通報してた！
はあ……。

(主人公「俺じゃなかったらなんで？」)
(夏菜子、顔を拭う)

ん～……？
ふう。
そりゃあ……と、友達だしッ？ 多少は特別でしょ？
とッ、友達以外の感情……っ、あると思う？
仮に私が好——（※仮に私が好きだったらどうする？ と言おうとした）
……あ、

いまのナシ！ 忘れて！

(主人公「は？ なんでだよ」)

いいから忘れて！
勢いで告るとこだった……。

それよりさあ？
顔にかけるのはダメ！
独りよがりだからね？

憧れとかそーいうのじゃなくて、ほんとに許可貰ってから！

(主人公「わかったよ」)

はあ……。
まずは女の子の悦ばせ方学んだ方がよさそう。
……片想いに気づかないくらいだし……。

(主人公「どういう意味？」)

ううんなんでもないでーす。

(主人公「なあ、それなら悦ばせ方も知りたい」)

知りたいの？ 悦ばせ方。
でもー……あ、じゃ、じゃあ、で、でででで、デートとかあ——

(主人公「なに？」)

なッ、なんでもないッ！
そ、そっちは！？
なにか案あるの！？

(主人公「イカセ方知りたい」)

……はっ？ イカセ方？
……あの、なに言ってるの？

(主人公「童貞はテクなしじゃん」)

……そ、そりゃあテクニックがあれば経験あると思われるかもだけど……、
そ、それ普通私に頼むことお……？
ハア……なんで好きになったんだろ……。

……で、どうしたいの？
まさかとは思うけど……私の舐めたいと言わないよね？

(主人公「見たい！」)

……あのねえ。
私だって普通の女の子だよ？ 普通見せられるわけないんだけど。
動画観なよ。動画。
それで勉強すればいいじゃん。

(主人公「モザイク越しじゃわからない！」)

も、モザイクとか知らないよ！
見たことないんだったらそれまで！ 私は見せられないよ！
私だって彼氏いないんだし、普通はおちんちん見る機会ないよ！

(主人公「そこをなんとか！」)

う～……もお……ツ。
キミさあ、私が断れないと思ってお願いしてるでしょお……？
……誰にも言わないでよ？

キミが……ツ、特別だから……見せるだけ……だからね？

(主人公「は？ 特別？」)

そ、それより！
見せるよ？
しゃがんで……。
誰か来たら困るから……スカートの中……覗き込んで……。

んう……い、いい？
すう……はあ……すう……。
パンツ、脱ぐよ……？
うう……。

んう……う……う……。
み、見れば……？
わ、私の……！

(主人公、臍を覗く)

ううううう……ツ！
はっ、恥ずかしくて死ぬううう……ツ！

(主人公「スゲー美マン」)

か、感想いいから！
そっ、それで……っ、悦ばせ方でしょっ？
舐めればいいんじゃないかな……ツ！？
しょ、しょっぱくてもいいならだけど！

(主人公「いいの？」)

うう……っ、好きにして！

(主人公、クンニ開始)

ひゃッ！ あッ、ほんとに舐めるの……ッ？
ああッ、う……うッ、やだ……ッ、あ……ッ。
まさかつ、舐められッ……あッ、う……うう……ッ、ん……ッ。

う……ふう……ふう……ッ、んうう……ッ。
うくッ、あ、ああ……。

(主人公「気持ちいい？」)

んう、ンッ、う、うん……ッ、気持ち、い……ッ。
あ、でも……んんう、そっちは、味とか、そういうの、報告しなくていいから……ッ。
はあ、はあ……ッ、恥ずかしい、し……ッ、
それ、ノンデリだから……ッ。

んう……うう、んく、う……。
んう、ふう、ふう……ッ、あッうう……んく、う……う……。
ふう……ふう……うう、う……ん、う……んく、ん……ッ。
ま、まだ、舐めるの……？
私はもう……ッ、満足してるよ……？

(主人公「イカせていい？」)

ふう、ふう、ハア？
イカせるって……んんう、私のこと、バカにしてない……ッ？
んん、いくらなんでも……ン、舐めたことない人に、イカされるよーなこと……ッ。
はあッ、はあ……んう、ッ。

(主人公、クンニを強める)

ひッ！ ああッ、うそッ、あッ……！
それ、気持ち、い……んう……ッ！
ああああ……ッ、待って、待って……ッ！
ああッ、ダメ……ッ、イク……ッ！

(夏菜子のみ絶頂)

うううう……ッ！
はあッ、はあ……ッ、ば、バカ……ッ。
無理やりだよ、いまの……ッズルいい……！

(主人公「勝った～」)

はあッ、ああッ、ん、か、勝ちとかじゃないよ……ッ。

そんな舐めたら、誰だってイツちゃうよ……ツ。
んう……うう、んく、ん……ツ。

(主人公、クンニ2回戦へ)

アツ！ ね、ねえっ？ なんで続けるのっ？
んう～ツ、うう、あつ、ダメっ、アツあ……！

ふう、ふう、んう、んっ……勝手に、続けないでえ……ツ。
ああつ、う……んん、んくうう、ん……ツ！
もおつ、あつ、ああつ、なんでツ、こんな人のこと、私……ツ！

はあつ、はあつ、あつ、う……ツ！
んうううツ、んっ、ね、ねえっ！
これ、キミの練習なんでしょ……っ？

んう、そ、そのっ、んん、ンツ、気にならないの？
んうああ、う、ん、私の気持ち、とか……っ。

(主人公「友達として、だろ？」)

はあつ、はあ、そ、そうだけどさあ……っ。
んうう、友達だけどツ、んん、ふ、普通、友達にここまでやんないよ……ツ。
んんツ、あつツ、う、今日は珍しく言う、けどツ、もうちょっと、私のこと――

(主人公、激しく吸う)

んくうううツ！
ちょ、ちょっと！ いま大事な話をツ――

ひゃあ！ くうツ！ アツ、んうう！ ダメっ……！
またっ、イク……んううう、ああつ、イク……ツ、ごめツ……んう～～～ツ！

(夏菜子、二度目の絶頂)

んううツ！
あああつ、はあつ、はあ……ツ、あ、ああ……はあ、はあ……ツ。
んうう、んっ、もお……強引だよ……ツ。

(主人公「感想は？」)

はあつ、はあ……っ、感想……？
んうう、ま、まあ、気持ちよかった、けど……っ。

(主人公「テクあるかな？」)

んう、ん、テクは……あるんじゃない……？
んう、ん、ん、私も弱いから……参考にならないかもしれないけど……。
はあ、はあ……んん、ん……。

んう……もお、キミも顔汚れちゃってるよ……。
ちゃんと拭いて？

んう……これで、いいよね？
ちょっと疲れちゃった……ハア……。

●トラック5: 膣挿入を求められて妥協、妥協続きでついにナマ…！

●背景: 教室(夕方)

(トラック4の続き)
(主人公がクンニで2回イカせた後)

ん、なに……？
恥ずかしいから、あまり見ないでよ……。

(主人公、椅子に座る)

なにしてるの？
帰らないの？

(主人公「跨がってくれ」)

は？ 跨がるって……え？ でもで、出てるじゃん、それ……。
私も、履き直してないし……。

(主人公「いいから！」)

あっ！

(夏菜子、主人公の上に対面座位の形に)

あっ！ ご、ごめん……っ。
おちんちん……大丈夫……？

もう……危ないでしょ？ いきなり引っ張ったら……。
んう……もしかしてだけど……入れたいの？

(主人公「入りたい！」)

んうう、で、でも……私、彼氏とシたいし……。
つき合っていない人となんて……ちょっとはしたくないかな？
キミがつき合ってくれるなら、それが一番いいんだけど……。

(主人公「は？」)

ううん！ なんでもないなんでもない！
あ、でも……。
好きになってもらうチャンスかな……。

ごくう。
あのさ……？
す、素股ってあるでしょ？ ゴシゴシするやつ。
あれなら……いいよ？

(主人公「ハア？ やだよ。童貞捨てたい」)

いいから……っ。
んう……っ、女の子を悦ばせたいんでしょ？

んく、ん……っ、ん……。
ふう……んう、ん……。
女の子はね……んんう、入り口より、クリが好きな子の方が多いから、
ん、う、ん、意外とこれ……ん、挿入より悦ぶかも……。

(主人公「勉強になる」)

んうう、でしょ？
んう、でも、クリってか弱いから、ん、優しくね……。
うく、んう、ん……ふうう……ん、んう……っ。
ふう……んん、ん……ふう、ん、うんん、ん……。

んく、んう、これも……ん、っ、さきっちょが当たって、
アッ、ん、気持ちいいよ……。
んうう、んっ、はあっ、あっ、うんん、んう……。
んう、んく……んくう、んう……。

(主人公「入りたい」)

んう、まーだ入りたいとか言うかあ……っ笑
はあっ、はあ、ん、ん、だーめ。
ンッ、童貞は……んんう、テクがあれば、嘘だってばれないってば。
ん、う、ん、処女と違って、概念なんだしさ……。

ふう、ん、んう……んうう……。
あ、ごめん……さっきイッたばかりだから……ツ。
い、イクかも……っ。
んう、んっ、う~~~~……ツ！

(夏菜子のみ絶頂)

ンんんっ！
はあっ、はあ、はあっ、ん、んく、ん……。

(主人公「入りたいんだよ」)

んうう、だから、入れないってば……。
はあ、はあ……んう、ん、それに、ゴムないよ……。

(主人公「生でいい」)

んう、だーめ。私が生やだよ。

(主人公「外に出せばいい」)

んう、ん、外に？
知らないの？ んく、たしか、体液に精子入ってるから……精液じゃなくても妊娠するんだよ？

(主人公「大丈夫」)

ふう、ん、なにが大丈夫なの笑
んく、ん……。
それに……妊娠したら、責任取る……？

(主人公「取る」)

ほんとに？

(主人公「結婚する」)

はあっ、はあっ。
けっ、結婚……っ？

マジっ？
んう、んう……ツ、ん……。

(夏菜子、妊娠したら交際できるかもの発想になる)

ごく……っ。

かッ、覚悟あるなら、んう、その覚悟に応えよう……かな？
いいよね？ ね？

(主人公「ひ、必死じゃね？」)

必死じゃないよ！

それに……っ、
誰か来るかもだし……。

早く、終わらせよ？

お互いの初めて……っ。

責任、責任、責任……♥

ふふ……っ、赤ちゃん、ありかも……♥

入れるよ？

ふう、ふう……いきます……っ。

んううう……ッ！

アッ、う、う……あと、ちよつと……ッ。

ああああああ……ッッ！

(根元まで挿入)

(挿入と同時絶頂する)

うううッ！ んアッ、あっ！ い、イツちゃった……ッ！

んんう、ゆっくり入れてほしかったのに……っ。

んううっ、はあ、はあ……あ、ああ……ッ。

はあっ、はあ……んう、ど、どう、かな……？

んうう、初めて、でしょ……？

(主人公「スゲえ温かい……っ」)

んう、ん、うんっ、温かい、よね……ッ。

私も……ん、感じる……っ♥

ふう、んく、ん、

ん、こっちは正直……お腹のどこまで来る感覚して……ッ、
違和感、半端ないけど……っ。

ふうう、ん、でも……ッ、

ああっ、う、ん、動きたい気持ちも、強いよ……ッ♥

ふうう、んく、ん……はあっ、あ、うう……んく、ん……ッ。

ふう、ん、んう……あ、う、んうう、ん……ツ。
これが、エッチなんだね……。
んうう、んツ……はあ、はあっ、私達、エッチしてる……ツ。
んう、練習なんて言うけどっ、はあっ、あっ、ううっ、
これ、本番だよ……ツ。
これ以上に、大切なことないもん……ツ。

んう、はあっ、あっう、んん、んんん、んっ。
ん、はあ、はあ……ん、んう……ん……ツ。

はあっ、はあ、あの、深い意味ないんだけどさ——

んぷうう、チュツ、チュツ。
キス、させて……っ。

んちゅ、チュツ、うんん、ちゅ、ちゅう、んん、チュツ。
ふう、ふう……んん、ちゅる、ちゅ……んんく、チュツ。
はあ、はあ……んん、ちゅん、チュツ。

あ、そこ……っ、んん、ちゅ。
ん、んう、ナカで、おちんちんすごい、膨らんでる……ツ。
今日は仕方ないけど、んん、ん、あまり反応しすぎると、経験ないってバレちゃうかもね？

んう、ん、んう、ふうう……んく、ん……ツ。
ん、んう、ん、こっちとしては、ちゅうう、ちゅっ、チュツ。
失敗してもいいんだけどね。

(主人公「そんなこと言うなって」)

んむ、ちゅう、チュツ、んん、もう……、
ほんと、ニブチンだなあ……ちゅる、チュツ。
流行らないよ？ 鈍いの。

ちゅる、チュツ。
はあ、んむ、ちゅ、ちゅっ。

ぶはあ。
はあ、はあ……んく、ん……。
慣れてきたから……っ、ちょっとペースあげてみる。

んくう、んっ、ん……ツ。
はあ、はあ……ツ、んん、んう、いつも、二番手っ。
はあ、はあ……ツ、目立てない、私、だけど……ツ、ん、んっ、
今回は、負けない……ツ。

(主人公「なんの話？」)

はあっ、ん、んう、ううん！ こっちの話！
はあっ、はあっ、負けヒロインなんて、言わせない……ツ。
んん、んく、んうう、はあっ、あう、んツ。
おちんちん、気持ちいい……ツ。

んう、んううツ、ん、ねえ？
頭の中、あの子のこと考えてないよね？
はあっ、はあっ、はあっ、ちゃんと、私のおまんこ意識してくれてる？
ん、んう、んう、いまは、私だけ意識してよ……ツ。

んううう……んくん、ん……ツ！
私にだけっ、硬くして？

(主人公「で、出る！」)

んく、んう、え？
いま、で、出るって言った？
もしかしてっ、あっ、んう、待って！ いまっ、おちんちん、抜——

(主人公のみ絶頂(中出し))

ひゃああっ！
ど、どうしたの？ すごい震えたけど……。
……あ！

で、出てる？ これ！
あっ！ すごい来た……っ！
あっ、ああ……もお……んう、んっ、ナカはダメだってばあ……。

はあ、はあ……ツ。
抜くよ？
んうう……っ。

(ペニスが抜けると精液が垂れる)

はあ、はあ……。
うわあ……ほんとに出てる……っ。
初めてなのに……これ、子作りだよ……。

(主人公「急にマンコとかエロいこと言うから」)

んう、エロいこと？

ああ……エッチな単語使ったから昂ぶったの？
んう、もお、テクよりそっちの耐性つけた方がよかったね。
んう……ハア、出しちゃったのは仕方ないから……とりあえず、
いまはそれより大事なことの確認。
ほんとに、責任取るよね？

(主人公「ああ……男だし」)

……うん♪
デキたらね？
約束だよ？
あ、でも！

流れで交際するのやだ！
ちゃんと告白するように。

(主人公「デキたら、な」)

う、うん。デキたら……。
ハア……いっそデキてくれればなあ……。

●トラック6: でででででででーと！！！！

●背景: 喫茶店(日中)

(トラック5の数日後)
(向かいでお茶を嗜む夏菜子)

ススス……。
ふう。
デート、どうかな？
私も初めてなんだけど……練習になってる？

(主人公「棗とじゃデートにならないぞ」)

ハア？ 私とだってちゃんとデートでしょーが。
集中してよ？
キミのすぐアッチのことしたがるクセ、矯正してあげようとしてるのにさ～。

(主人公「アッチ？」)

あ、アッチはアッチだよ……。
こんなとこで言わせようとしなくてくれる……？

も～……。

(夏菜子、鞆からメモ帳を取り出す)

キミには配慮が足りない。
だから計画してあげたの。

こーれ。
私が立てたデートの予定！
誘うところから考えたんだよ。
基本、男子が誘ってデート中に次のお誘いをする。

それで、デートの最後。
女の子が「また連絡する」とかそんな感じのまた今度感出したら脈ナシと思った方がいいかな～……連絡してもきつと返事来ないかも。そしたらデート中になにか気に入らないことしちゃったかなと思って、次の子とのデートに活かそう。
あ、これ私調べの情報だけどね。

(主人公「なんか……だいが使い古されてない？」)

つ、使い古された日記じゃないよ！
言っとくけど、前々から予定立ててたとかそーいうのも違うからね？ ね？

ハア……。
それで、初デート！
どこ行くの？

(主人公「映画館？」)

うーん。映画もいいけど……私は好きだけどね？ でもあんま世代的に刺さらないんじゃないかな？ スマホいじれないし。

(主人公「遊園地？」)

うん、遊園地いいね。でも歩き回るようなことのないようにね？ 気合い入れてヒールでも履いてきちゃってたら大変。ヒールってさ、めつつちゃ歩きづらいんだよ？

(主人公「履いたことあんの？」)

あるよ～、履いたことくらい。
従妹の結婚式の時にね～。

(主人公「似合わなさそ～」)

ハア！？
に、似合わないとか失礼すぎなんだけど！
も～……そーいうとこノンデリすぎ～……。

（夏菜子、コップを手取る）

ごく、ごく……。
ハア……今後は思いやられるよお。
キミに必要なのはエッチのテクより女の子を楽しませる力！
デートはエンターテインメントだよ。
デートっていう非現実空間に連れてって、楽しませてあげなきゃお付き合いだってしても
られない……キミはそういうの身につけなきゃ。

（主人公「え～……やればすぐわかってくれると思うけど」）

だーめ。エッチはちゃんと気持ちを通じ合ってから！
もお……なんで私がそこまで教えなきゃなのお……？
私だってまだ恋愛経験ないのにさあ……。

（主人公「なにかお礼するよ」）

お礼い？
ん～……。
あ、じゃあ――

（夏菜子、考えたけど恥ずかしくてやめる）

ごめん！ やっぱいい！

（主人公「言えよ」）

やーだ。恥ずかしいもん。

（主人公「なんだよ～」）

え～……だってえ……。
笑わない？

（主人公「うん。友達じゃん」）

……言うよ？
……つき合えた時は、なにもいらない。
でも……フラれた時は、私をデートに誘って？ 自分から。

（主人公「は？」）

だっ、だからそーいう反応お！
うう～～……ツ、恥ずかしいからやっぱ忘れて！
ほらっ、デートの続き！ 行こっ？ 行こっ？

(主人公「デート誘う練習すっかぁ」)

あ～！ 蒸し返すなあ！
もお、これだからノンデリはあ……。

●トラック7:好きな人の部屋で谷間大活躍回

●背景:主人公の部屋(夜)

(トラック6の数日後)
(夏菜子、主人公の部屋のベッドに座る)

ご、ごめんね？
急に夜、思い立っちゃって……来ちゃった。

(主人公「明日告るんですけど」)

う、うん。知ってる。明日、告白するんだよね。リベンジ。
だからね？ 私がもうちょっと……背中、押してあげようかなって。
告って、つき合ってもまだエッチは当分先だと思う。
でも、つき合っちゃったら私、関われないから……、
今日までは、いいよね。

笑わないでよ？ これ。

(夏菜子、コンドームを取り出す)

じゃん。これ、ゴム。

(主人公「は？」)

そ、そりゃあビビるよね。
でも……もうちょっと相手を満足させるスキル、身につけてもいいんじゃないかなあ……
って。
経験は多い方がきっと早く出ちゃうのも治るはず。

ん、しよ……。
胸、見せたことないよね？

待ってて。
耐性つけてあげるから。

んしょ……。

(胸が露わになる)

ど、どう？
あまり乳首のそこ、とか……自信ないんだけど……。

(主人公、胸に飛びつく)

ひゃ！
んうっ、も、もう……ツ、ん、顔埋めていいとは、言ってないんだけどお……。
んう……ツ、ん……んう……。
あのさ？ んう、ん……あの子のこと、本気で好き？
んう、ん……ツ、ん……疑ってるわけじゃないよ？
んう、で、でも……自分の片思いする相手……変えても誰も責めないからね……。

(主人公「どういう意味？」)

んうう、さあ、どういう意味だろうね。
んん、ん……ん……はあ……。
こんなんだから……モブ卒業できないんだよなあ……。
おっぱい、いいの？

(主人公「挟んで」)

は？ は、挟む？
挟むって……もしかして……、
そ、それ？

(主人公「パイズリして」)

……あのさあ。
私、相手を満足させる方法をとって言ったよね……？
んう……も～……。
いいや。
ちょっと待って？

これでいいんでしょ？
じゃあ……おちんちん、出すからね？

ん、と……。

この感じじゃ……、

告白も失敗かな～……。

(主人公「な、なんでよ!」)

ふふ、なんでだと思う?

あ、腰浮かせて?

んう……。

ほら、おちんちんビンビン。

キミってエッチしか考えてないんだもん。

でも……私なら、それでもいいんだけどな……。

挟むね?

(夏菜子、谷間に挟む)

んふうう……、ん……。

カチカチだね……♥

このおちんちんを……っ、

鍛え直す……ツ。

んく、ツ、ん、んう……ふうう、ん、んうう。

(主人公「褒めてやっぱ俺のこと好き?」)

んうう、ん、ハア?

なんで私が、キミのこと好きって話になるの?

んうう、ん、いまは、おちんちんに集中して。

ん、んっ……んく、ん、さあ、いま手持ち無沙汰なキミは、んん、ん、

なにをしたら、彼女に悦んでもらえる?

んう、んう、ん……ツ、んっ。

(主人公、顔を近付けてキス)

ハっ? あっ、うそ——

んむう、チュツ、アツ、ふう、んんむ、チュツ。

ふう、んん、チュツ……や、あっ、ちゅう、ン、チュツ。

そんな、ズルい……んん、ちゅ、ちゅる、ちゅう、んん、ちゅる、チュツ。

ちゅる、チュツ、んん、チュツ。

ふう、ふう……ちゅる、ちゅるっ、ちゅる、んん、チュツ。

あっ、あっ、う、んん、ちゅっ。

ぷはあっ。

はあ、はあ……バカあ……。
い、いま、キュンとしちゃったよお……っ♥

んうう、んっ、はあっ、はあっ。
たしかにそれ、悦んでもらえるかもね……っ。

(主人公「棗が悦ぶじゃなくて？」)

んう、へ？ わ、私が悦ぶと思ってしたの？
んうう、ん、もお……キミがわかんないよ。
んう、私のこと、ちゃんとわかってるのか、んう、ん……ツ。
私も私で……んんう、いつも、人の気持ち優先にしちゃうから、んう、ん、
い、いま、心臓バクバクで……どうしたらいいのかわかんない……っ。

はあっ、はあっ、んん、んっ……んん、んツ。
ドキドキ、誤魔化す……ツ。
ん、んう、気持ちいいのでね……♥
んう、ん、はあっ、はあ……んん、んっ。

私、ん、んう、今日は、悔いの無いようにするんだ……。
だからっ——

んむうう、ちゅるうっ、チュツ！
キミが悦ぶこと、なんだって、する……ツ。
ちゅう、チュツ、んん、ちゅっ！

ふう、ふう、んんん、チュツ！ チュツ！
んぷぷ……ちゅうう、チュツ、くううう、チュツ！
ズズツ、ちゅる、ちゅっ。

(主人公「スゲえいい」)

ちゅる、ちゅるる、チュツ、んん、チュツ。
出したい時は、いつでもいいよ。
ちゅるっ、ちゅんん、チュツ、チュツ。
ずずう、ちゅ……っ、今日は、飲んであげるから……。
ちゅる、ちゅる、んんぷぷ、ちゅる、ちゅ……ツ。

チュツ、チュツ、都合のいい女も、
ちゅるるるッ、イイ女だってこと、見せてあげる……ツ！

んうう……ツ！
ちゅるる、チュツ、ずずずうう、チュツ！
ふう、ふう！ ちゅぶ、ちゅうる、チュツツ！

(主人公「い、イク……ツツ」)

んんむうう、ぢゅぷツ、チュツ！
いいよツ、ぢゅるる、んん、ぢゅツ、出して……ツ！
ぢゅぶぶうう~~~~~ツツ！

(口内射精)

ンうううううツ！

(パイズリここまで)

ぷひゅ！ ん、んうう、んっ！
すごいね……っ！笑
んむう、んっ、かなり、出てる……ツ！
けほツ、ん、んうう、ん……っ！

ぷひゅ！
んうう、んう、ふう、ふう……。
飲む……。

ごくツ、ごくツ、ごくツ、ごくツ……！
ぷはああ！ はあ、はあ……ツ！
飲んだよ……！
どうだ……ツ♥

(主人公「ドキドキした」)

ふふっ、ドキドキした？
なら、チャンスかも……ツ！

(主人公「なにが？」)

ううん。こっちの話。
ねえ？ エッチしよ♥
濡れちゃった♥
女の子を悦ばせるのは……エッチの方でいいや♥

●トラック8:好きな人の部屋で生バック&正常位で…♡

●背景:主人公の部屋(夜)

(トラック7の続き)

(パイズリフェラで口内射精した後)

ちょっと待って？
下……脱ぐ。
ん……。
そっちもシャツ脱いで？
んう……。
この空気……緊張するね笑

(夏菜子、全裸になる)

はあ……。
あ、見ないでよ？ 恥ずかしいから。
んう、ジロジロは見ないで……。

(夏菜子、ベッドの上で四つん這いに)

後ろから来て？

(主人公、夏菜子の後ろでバックの位置)

んう……あつ。
ちょこんと当たって——

ゴムつけて？
じゃなきゃ——
ひうううっ！

(根元まで挿入)

ばっ、バカ……ッ！
勝手に、生でっ……！

ひゃあん！ ああつ、あうツ、ん！
もおツ、なんのためにゴム買ったと思ってるのぉ！
んう、んツ、んっ、恥を忍んでっ、男性店員いるところで買ったのにい！

あううツ、ん、んうう！
アツ、気持ちいつ、ん、ンツ、んううっ！
ああっ、すごいつ、ううツ、ん、んううっ！
ダメだよっ、愛情ツ、愛情込めようねツ。

(主人公「どうすればいい？」)

ん、んうう、どうって、はあつ、はあツ。

ちゃんと、愛撫もして……っ♥

(主人公、胸を揉む)

ああッ♥ そうっ、んう、んッ♥

胸でも、満足……ッ、んく、んん、んッ♥

ふはあっ、あっ、んん、ん……ッ、ううう、んッッ♥

ああっうう、ん、んううッ、ンッッ♥

あん、んんくん、ッ、ん……ッ、ああっ、そこッ、すごい……ッ♥

メス墜ちじゃなくてッ、私がッ、はあっ、はあっ、

オス、墜としたいのに……っ、ううっ、ん、これ以上、私が墜ちても意味ないのにい……ッ！

ああっ、ううッ、ん、んうううッ♥

は、あはあっ♥

気持ちいい？ ん、んうう、んッ♥

言っておくけどっ、当分エッチはもちろん、生だってできないからねっ？

これ、私だけ！

(主人公「なんでッ？」)

んうう、ん、なんでじゃないよッ！笑

普通生なんてさせないからっ！

んう、んっ、ましてや、学生なのに……ッ、んあ、んううッッ。

あううッ、ん、ん、ごめんねっ、私……ッ、耐えられないかも……ッ。

(主人公「激しくする？」)

はあっ、はあっ、うんっ、激しいのちょうだい……ッ！

私だけはッ、キミの——

ひゃあああッ！

んううう！ もう！ シャベってる途中なのにい！

ああっ、ん、んうう！

ああッ、イクかもおっ、ううッ！

(主人公「どこで出す？」)

んう、んッ、ナカでいいよッ！

どうせ、今日が最後だもん！

来て……っ！

あああああッ！

イクッ、んうううッ、来て……ッッ！

(同時絶頂(中出し1回目))

ンンンン……ツツ！
あああっ！ うツ、うう～～ツツ、ンツツ！
ふはあっ、はあっ、はあ、アツ、どくっ、どくう♥

中出しいっ、うう、んツツ♥
んうう、ん、あっ、ああツ♥
責任……ツ、取ってよね……ああっ、う、んうう……♥

受精っ、しちゃえばいいのに……ツ♥
んうう、ん、はあっ、はあツ♥
んううう……ツ！

(ペニスが抜ける)

あっ！ はあっ、はあ……ツ。

(夏菜子、バック→正常位に反転)

もう一回して……？

(主人公「マジ？」)

うん……♥
女の子を悦ばせるなら……つき合ってあげなきゃね♥
もう一回……生でいいから……っ♥

んううう……ツ♥

(根元まで挿入)

ああ……ツ♥
はあっ、はあ……っ、私、ダンスしてるから……体力ある方だよ……♥
キミの性欲に、ついていける……ツ♥

ひゃんんうう……ツ！
ああああ……んん、うくうんん、んツツ！
ん、んっ、キス♥

(夏菜子からディープキス)

んむううっ、ちゅうう、れろっ、れろっ、んん、むちゅう、チュツ！
ふう、ん、ちゆるっ、あっ、硬い……ツ♥
んうう、ちゆる、んん、チュツ、アツ、はあ、はあ……ツ♥

ちゅうん、ちゅっ、好き……っ♥
ちゅん、ちゅる、ちゅん、ちゅ……ツツ♥
あっ、はあっ、はあ、ンぷぷうう、チュツ、んん、チュツ♥

アツうん、んっ、ちゅ、んん、チュツ！
ああっ、すごい、いい……ツ♥
んう、もう、離したくないよ……ツ♥

んうう、ん、もうっ、負け女なんて、呼ばせない……ツ！
私がっ、はあっ、はあ、一番になる……ツ♥
ちゅううううッ！

ぷはあ！ はあ、はあ……ツ！
んん、んっ、もう一回、ナカいいよ♥
んん、ツ、ん、ん、ツ、私は、受け止める……ツ♥
あの子よりもっ、たくさん……ツツ♥

んんう~~~~っ！
あああッ！ はあ、はッ！ んうううッ！
気持ちいいッ！ ああっ、おちんちん、すごクッ、アッ！ んうう！
来てッ♥ 好きなんでしょッ？
ナカに出すの……ツ！
だよねっ、だよね……ツ！

ああっ、ああッ、欲しいよッ♥
中出し来てッ♥ 私がッ、私が……ンうう、
全部受け止めてあげるツツ♥
ああああああッ♥
イクッ♥ んう~~~~~ツツ！

(同時絶頂(中出し2回目))

ンああああ……ツ！
うううッ♥ アッ、ああッ♥
来てる♥ んううう、んくうッ、んッ♥
種付け、されてる……ツ♥

ああっ、はあ、はあ……ツ、すごい、出るね……ツ♥
んうう、ん、ほんとに、たくさん……ツ♥
はあっ、はあ、はあ、あッ、ああ……ツ♥

ふうう……んく、ん……ツ。
あ、あのさ？ んう、ん、余韻に浸ってるとこ悪いんだけど……、
さっき言ったこと……聞いちゃった、よね……？

キスの時に……その……っ、わ、私の本音……っ。

(主人公「なに？ なんか言ったっけ？」)

へっ？

きッ、聞いてないのっ？

はあ……う～……せっかく勇気出したのにい……。

バカあ……。

んう……もういい……。

キミなんて、明日フラれて私に慰められにこい。

(主人公「もう一回言って」)

やーだもーん！

もう言わない！

はあああ……。